



ライ麦とヘアリーベッチの混播は種

土づくりと減肥を目的として、継続的に緑肥をすき込み土壌中の炭素量の変動を調査しています。緑肥は、イネ科のライ麦とマメ科ヘアリーベッチを混播して使用しています。

緑肥すき込みによる土壌の炭素貯留機能を明らかとし、CO<sub>2</sub>削減への貢献について検証します。